

保護者の方のための
子どもの皮膚疾患 Q&A ブック





乾燥肌とは？



皮脂の分泌量や角質層の水分量が減少することによって、肌のうるおいが保てなくなり、外からの刺激を防ぐバリア機能が低下した状態です。皮膚の表面が乾燥する為、カサつきやかゆみが生じると共に、アレルギーの原因物質や微生物が入り込みやすくなり、炎症などの皮膚トラブルを招くこともあります。

かゆみを感じた場所をひっかくと患部に湿疹ができ、その為更にひっかく…という悪循環に陥ってしまう為、日常的に正しい保湿ケアを行うことで乾燥肌を防ぎましょう。



どんな人が乾燥肌になるの？



乾燥肌が生じる要因には、冷暖房のきかせ過ぎや、入浴時の身体の洗い方・せっけんやボディソープとの相性など日常生活と結び付いたものも多く、体質や遺伝的要因などとも関連性があることから、いつ・誰にでも起こりうる可能性があります。

子どもの肌は乾燥しがちで汗をかきやすく、外遊びなどで汚れや細菌もつきやすいです。「とびひ」などの細菌感染症につながる恐れもある為、お肌を清潔に保ち、乾燥がひどい時は保湿剤を1日に数回塗ってあげるなど、お子さまの状態に合わせたスキンケアを行いましょう。



自宅でできる予防法は？



正しいボディケアを行うことで、日常的に乾燥肌の予防ができます。ここでは、お子様と一緒にできるバスタイムのボディケアをご紹介します。



STEP1：やさしく洗う

まずはかゆみの原因となる汚れを落とす為、手のひらか柔らかい素材のタオル・スポンジなどに低刺激の洗浄剤を含ませ、優しく洗ってください。洗い流しが不十分だとかゆみや炎症の原因になりますし、強くこすったり、皮脂を落とし過ぎても乾燥の原因になります。

STEP2：バスタブでのんびり

次に、ぬるめのお湯をはったバスタブに保湿系入浴剤を入れ、ゆっくり浸かってください。入浴剤が全身を隅々まで保湿し、入浴後の乾燥も防ぎます。熱いお湯は体温の上昇でかゆみを増すことがある為、ぬるめの温度にゆっくり浸かり、血液の循環を良くしましょう。

STEP3：湯冷めの前に保湿剤

入浴直後のお肌は浸透力と吸収力が高まり、ボディケアに最適の状態となっています。お子様が湯冷めしないうちに、お肌に優しい保湿剤を全身にしっかり塗ってください。

伝染性膿痂疹（とびひ）



とびひとは？



ブドウ球菌など、皮膚を溶かす毒素を持った細菌により皮膚にやけどのような湿疹が次々拡大する状態です。強いかゆみを伴う場合もあり、患部をかいた手を介して水疱が火災時の火の粉のようにあっという間に広がる様子から、「とびひ」とも呼ばれています。



治療法は？



抗生物質を1週間ほど内服し、外用剤を塗ってガーゼなどで覆います。4～5日で患部が乾き、約1週間で完治します。（完治したように見えても、身体に細菌が残っている場合もありますので、お薬は自己判断で中止せず、医師の指示を仰いでください）

稀に普通の抗生物質が効かない菌が付着することもある為、2～3日経過しても症状が改善されない場合は再度ご相談ください。



治療中のお風呂は？



きれいなお湯であれば、湯船にお入りいただいて構いません。患部は毎日シャワーでよく洗い、しみなければ石けんの使用も可能です。入浴後は患部をよく拭いてください。



家族への感染は？



大抵の大人は大丈夫ですが、子ども同士は簡単に感染してしまう為注意が必要です。タオルや衣類が原因になることもありますので、治療中の共用はできるだけ避けてください。



学校はどうしたらいいの？



出席停止が義務付けられている病気ではありませんが、症状による判断が必要です。



じくじくした状態の患部には細菌がたくさん潜んでいる為、他の人にうつらないようにガーゼなどで覆った状態であれば通園・通学が可能です。症状が広範囲だったり、顔面など露出した部分に現れている場合は休んだ方が良いでしょう。

また、患部が乾いてくるまでは、症状の悪化や感染拡大の恐れもありますので、プールはお控えください。

伝染性軟属腫（水イボ）



水イボとは？



軟属腫ウイルスによる小さなイボで、幼児～小学校低学年の子どもに多く発症し、できたり消えたりを繰り返します。特に害はなく痛み・かゆみといった自覚症状もないことが多いですが、水疱にたくさんのウイルスが含まれている為、潰したり引っ掻いたりすると、自分の身体や他人に感染してしまいます。



治療法は？



ピンセットによる外科的摘除が一般的です。チクとした痛みがありますが、注射ほど痛くはありません。当院では、ご希望に合わせて処置時の痛みを和らげる麻酔テープ（ペンレステープ）をご用意しています。



ペンレステープって？



安全性が高い局所麻酔用のテープです。30分～1時間前に貼ることで効果が得られる為、時間までは外出したりキッズスペースで自由にお過ごしいただくことが可能です。スタッフを怖がってしまう場合、ご家族にお手伝いをお願いすることもあります。初めての方には印のつけ方やテープの貼り方も一からご説明しますのでどうぞご安心ください。



処置後のケアは？



処置時に多少の出血がありますので、当日はシャワーのみ、様子を見て翌日からはお風呂にもお入りいただいて構いません。入浴後は清潔なガーゼで拭いてから、絆創膏などで覆ってください。（かぶれる恐れがありますので、消毒液は使用せず水道水による洗浄で充分です）患部は3日程度で乾いてきます。



大人にもうつる？きょうだいのお風呂は？



子ども同士が感染しやすい一方、大人には簡単に感染することはありません。

きょうだいで一緒に入浴したからといって必ず伝染する訳ではありませんが、ご家庭の事情に合わせて可能なら別々にした方が良いでしょう。



学校はどうしたらいいの？



幼稚園・保育園・小学校共に通園通学は可能ですが、感染拡大の恐れがありますので、原則としてプールはお控えください。

尋常性疣贅（イボ）



イボとは？



ヒトパピローマウイルスの接触感染によって発症する硬い丘疹で、放っておくと数が増えたり、ひとつひとつが大きくなったりします。幼児～児童期に多く、大人にも発症しますが、どのような経緯で発症するかは不明です。



治療法は？



-196° の液体窒素を患部にあてる凍結療法を行います。また、ヨクイニンという漢方薬を用いた内服療法を併用する場合があります。



凍結療法って？



液体窒素を患部にあてることで、ウイルスの感染組織を壊死させる療法です。処置時に患部周辺に炎症を起こすことから、免疫細胞を活性化させ、ウイルスを排除する抗ウイルス効果もあります。軽くあててもさほど変化はなく、痛みも少ないですが、強くあてるほど効果があります。痛みの感じ方には個人差がありますが、一般的に治療時は冷たい氷を押し当てた時のような痛みを伴うと言われています。



処置後のケアは？



患部に内出血や水ぶくれなどができる場合もありますが、大抵は1週間程度できれいに治ってきます。処置後特別なケアは必要ありませんが、患部が不衛生にならないよう清潔に保ってください。砂場や河川など屋外で裸足で遊ぶ場合には、傷や水ぶくれ・化膿している場所がないことを確認し、絆創膏などで患部を保護してあげてください。



学校はどうしたらいいの？



簡単にはうつりませんので、幼稚園・保育園・小学校共に通園通学が可能です。またプールにもお入りいただけます。入浴など日常生活の制限もありません。



完治までどのくらいかかるの？



週に1回程度のペースで来院していただき、平均5～6回でかさぶたが脱落、完治となります。ただし、大きなイボや手のひら・足の裏などできた部位によっては10回以上と長いかかることもあります。



水イボ・液体窒素治療を受ける保護者の方へお願い

ピンセット摘除・液体窒素治療を行う際には、患部に痛みや出血・水ぶくれを伴うことがあります。また、ひどく暴れてしまうお子様は、器具が当たって怪我をしてしまったりすることがないように、処置中の安全の為に身体をおさえさせていただく場合がございます。

診察中は、ドクターやスタッフが話しかけたり、ぬいぐるみを使ってあやしたりと、出来る限りリラックスした状態で治療を受けていただけるよう心がけますが、まだ小さなお子様のトラウマになってしまったり、「怖い思いをした」と病院嫌いになってしまったりすることがないように、当院では保護者の皆さまに3つのお願いをしています。

1.ご家庭で処置についてしっかりお話ししてあげてください

もちろん私ももしっかりお子様にお話させていただきますが、ご家族の方から、どんな処置を受けるのか？なぜその処置が必要なのか？をお話ししていただくことで、お子様がいたずらに怖がったりせず、勇気を出して治療に挑めるよう背中を押してあげてください。



2.処置中にお手伝いをお願いすることがあります

お子様の様子や出来た部位によって、処置は様々な姿勢で行います。時には嫌がるお子様をなだめながら一緒におさえていただいたり、処置の様子が見えないように抱っこをお願いすることがあるかもしれません。

大切なお子様により安心して治療を受けていただけるよう、私どもも最大の努力をさせていただきますが、保護者の方にもお子様と一緒に励まし・支えていただけるよう、ご協力をお願いいたします。



3.お家に帰ったらたくさんほめてあげてください

一生懸命頑張ったお子様を、ご自宅に帰ったらたくさんほめてあげてください。保護者の方にほめていただくことが、お子様にとって大きな自信となり、これからの治療に立ち向かう強さにつながります。

※当院では、お子様が処置を嫌がって長時間泣き止まない場合には

ご相談のうえ治療を見送らせていただく場合がございます。

心の準備が出来ていないお子様に無理矢理処置を行うことでショックを与えてしまったり、他のお子様を必要以上に怖がらせてしまうことを避ける為ですので、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。